

Domaine Jean FOURNIER - Marsannay

- ・ ドメーヌ

Domaine Jean Fournier は Marsannay-la-Côte の中でも最も古いドメーヌの一つ。その歴史はルイ 13 世の時代である 17 世紀まで遡ることが出来る。

今日、Jean Fournier とその家族は Marsannay(主に赤ワイン用でロゼと白ワイン用の畑もある)と Gevrey-Chamberin の最良のテロワールの畑を 16ha ほど管理している。それぞれのワインは強烈な個性を持っており、それは一部 60 年もの樹齢を越える古木から採れるブドウと、時に 3 年以上にもなる長期間の熟成によるものである。この手法によりフルボディで力強いワインが造られる。

- ・ 生産者

2003 年、Jean Fournier は彼自身の息子で Marsannay における新世代の生産者にあたる Laurent にドメーヌの管理を任せた。彼は若く、情熱を持った生産者で改革を行い、その結果を検証し、オーガニック耕作や除梗をしないブドウ果実を使った醸造、手摘み収穫への回帰を試みている。彼の目標は自然と環境への敬意を通して健全なブドウを造ることです。

- ・ 醸造

ブルゴーニュにおける伝統的な手法によりテロワールの複雑さとヴィンテージごとの個性をワインから引き出している。

熟した果実のみ選別して収穫を行い、さらに畑と醸造所とで2回、果実の選別を行う。醗酵は 3 週間を超えて非常に長期間に渡り、幾つかの伝統的な段階を経る。熟成の過程は幾分独特なもので、伝統的なサイズの醗酵槽と大きめ(20~50hl)のバレルの両方が使用される。これにより力強く長熟なワインが造られる。

ここでは傑出したマルサネロゼを生産しているが、このドメーヌの至宝といえ間違いなく”Clos du Roy”である。